

国立公園満喫プロジェクト：世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために 「最大の魅力は自然そのもの」「高品質・高付加価値のインバウンド市場の創造」

訪日外国人の国立公園利用者数

490万人(2015年)→ 1000万人(2020年)に
(2016年:546万人)

※H29年度に満足度等の質の指標を開発予定

ステップアッププログラムの策定

阿寒 十和田八幡平 日光 伊勢志摩
大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島平成28年7月：
世界水準の「ナショナルパーク」の候補として8公園を選定12月：公園毎に地域協議会により
ステップアッププログラム策定8カ所の国立公園における成果を
全国の国立公園に水平展開
※特に利用者数の多い国立公園(富士箱根
伊豆/支笏洞爺/中部山岳)に重点

世界水準の「ナショナルパーク」に向けたブレークスルー

上質な宿泊施設の誘致

- 日光ではラグジュアリーホテル進出に併せて幅広い層の受入環境を整備
- 民間と連携し、外国人旅行者のニーズにあったキャンプ場にリニューアル



ビジターセンター等公共施設の民間開放

- 伊勢志摩の英虞湾を望む直轄展望台を民間カフェ導入に向け整備
(H29年9月に工事着工予定)
- 日光のビジターセンターのテラスをH29.5月より飲食スペースとして開放。
H29年6月より地元カフェ等による試験出店



自然の質を向上させるための新たな仕組みの導入

- 慶良間諸島で入島時の環境協力税を徴収し、国立公園の環境保全に活用
- 阿蘇くじゅうにて利用者負担による草原再生検討について地元合意



景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

- 大山隠岐にて廃屋を撤去しつつ(内閣府交付金:H29年5月着手)カフェや物販機能を有する施設を整備
- 日光にて景観改善のため無電柱化を実施
- 各国立公園において、ユニバーサルデザインによる利用施設の整備の加速化



体験プログラムの充実と受入体制の強化

- 8公園において、自治体やツアー事業者等と、受入体制や各種コンテンツの充実を目指し検討・実施体制づくりを本格化
- 海外に強いエージェントやメディア等を招致し、キラーコンテンツ発掘やブラッシュアップを行うファームトリップを順次実施(7月日光、9月阿寒、10月阿蘇くじゅう等)

国内外への強力な情報発信

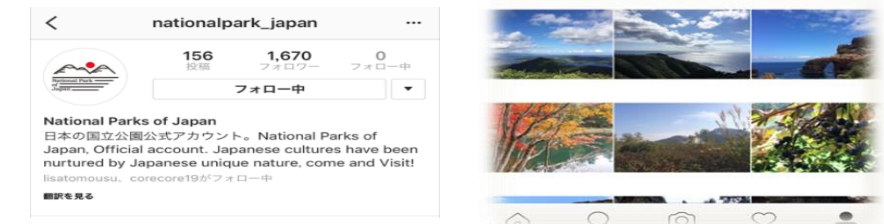
民間の知見の活用と連携

- 国立公園オフィシャルパートナー(ANA、JAL、JTB、KTCホールディングス、サントリー等31社)との連携協力により、空港や航空機、列車内等での国立公園の魅力を発信
- 阿寒観光協会や東北観光推進機構、山陰インバウンド機構、九州観光推進機構などとの連携による効果的な情報発信強化
- 民間企業経験者等の採用により民間連携を加速化



公式SNSの開設

- Instagram及びフェイスブック公式アカウントにおいて、現地レンジャーから、公園の感動を発信中



旅行博参加、セミナー開催

- 9月のツーリズムEXPOでは、8公園の展示商談会ブースを出展する他、業界関係者セミナーでも国立公園の魅力を発信
- スポーツ庁、文化庁、観光庁、日本観光振興協会、JATA、JNTOと連携し、旅行機運の醸成を図るジャパン・トラベル・マンス(9~11月)を実施